Creative Enzymes®

ネイティブ牛キサンチンオキシダーゼ

Cat. No. NATE-0732

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	キサンチンオキシダーゼは、細胞質に存在するモリブデンを含む酵素であり、フラボノイドによって強く抑制される可能性があります。これは、いくつかの□物、ならびにプリンとピリミジンの代謝において重要な役割を果たします。また、反□性酸素種の生物学的な源としても知られています。キサンチンオキシダーゼは、キサンチンの酸化に続いてスーパーオキシドアニオンを生成することによって、シトクロムcの還元に関与していることが示されています。これらのフリーラジカルは、シトクロムcを還元する責任があります。
別名	キサンチンオキシダーゼ; XO; キサンチンオキシドレダクターゼ; EC 1.17.3.2; 9002-17-9; XOD; キサンチン:酸素オキシドレダクターゼ; ヒポキサンチンオキシダーゼ; ヒポキサンチン:酸素オキシドレダクターゼ; シャルディン酵素; ヒポキサンチン-キサンチンオキシダーゼ; キサンチン:O2オキシドレダクターゼ; キサンチン:キサンチンオキシダーゼ

製品情報

種	ウシ
由来	牛乳
形態	タイプI、タイプII、硫酸アンモニウム懸濁液; 1 mMのサリチル酸ナトリウムを含む2.3 M (NH4)2SO4の懸濁液; タイプIII、硫酸アンモニウム懸濁液、2.3 M (NH4)2SO4、10 mMのリン酸ナトリウムバッファー、pH 7.8、1 mMのEDTAおよび1 mMのサリチル酸ナトリウムを含む懸濁液; タイプIV、凍結乾燥粉末、0.5%のサリチル酸ナトリウムを含む。
***EC**番号*	EC 1.17.3.2.
***CAS**登□番号*	9002-17-9
活性	タイプI, > 0.4 ユニット/mg タンパク質; タイプII, 0.1-0.4 ユニット/mg タンパク質; タイプIII, 1.0-2.0 ユニット/mg タンパク質; タイプIV, 0.4-1.0 ユニット/mg タンパク質。
単位定義	1ユニットは、pH 7.5、25°Cで1分あたり1.0 µmoleのキサンチンを尿酸に□換します。基質としてヒポキサンチンを使用した場合、約50%の活性が得られます。

保管・発送情報

保存方法	2-8°C